

I 大会申込みにおける承認行為(承認届)の廃止について

他加盟団体所属選手とのペアで出場する場合の承認行為について、加盟団体双方での確認を目的として実施されてきたところであるが、最近では、儀礼的・表面的な作業となっており、特に必要な行為とは思われない。そのため、申込みを行う加盟団体の会長が承認・申込みを行うだけで問題ないとする。また、大会当日の選手変更に係る申請内容が複雑となることもあるため、大会申込システムにおける承諾作業および大会当日における承認届を廃止する。

①令和3年度大会要項における「全日本社会人選手権大会」以降の大会要項の次の文章を訂正する。

- ・自分の所属外の都道府県選手と組んで出場することができる。なお、申し込みはいずれかの会長より申し込むこととする。ただし、双方の都道府県連盟会長の承認を得ていずれかの会長より申し込むこととし、申し込みをしない都道府県会長の承諾を大会申込システムにて手続きをする。(この場合申し込んだ都道府県の制限数に入る。)

②日本連盟のHPに掲載している「他支部の選手と組んで出場する場合(別表4)」を削除する。

実施時期：令和3年度全日本社会人選手権大会の申込みより(申込締切日7月27日)

II 選手変更の取扱について

選手変更については、2019年度当初より「組合せ公開日以降の変更については身体的変調が生じた時」に限定していたが、社会情勢の変化に伴う選手変更の必要性が増加してきたことや、出場を希望する選手のモチベーションアップのためにも次の通り改訂する。

1. 個人戦における選手変更が認められる場合は下記のとおりとする。(以下略)

- (1)~~組合せ公開までに~~疾病等なんらかの事情により、ペアのうち1名が出場できなくなり、変更届を加盟団体長の承認を得た後、日本連盟に送付し、あるいは当日持参し承認された場合。(以下略)

~~(2)組合せ公開後(原則大会開会日10日前)の変更作業は認められないが(以下略)~~

~~(2)~~(2)参加申込ペアのうち1名に支障が出た場合(以下略)

2. 団体戦における選手変更の取扱いは、国民体育大会、日本スポーツマスターズ(以下略)

- (1)~~組合せ公開までに~~疾病等なんらかの事情により出場できなくなり、(変更届を加盟団体長の承認を得た後、日本連盟に送付し、あるいは当日持参し承認された場合。(以下略)

~~(2)組合せ公開後(原則大会開会日10日前)の変更作業は認められないが(以下略)~~

(3)以降は番号繰り上げ

実施時期：令和3年6月14日(月)より

Ⅲ 全日本小学生選手権大会の参加資格について

大会におけるマナーシップの向上等を念頭に、数年前から団体戦における公認資格所有者の監督を育成し配置するよう依頼していたところであるが、今年度で準備期間としていた3年が経過、実施態勢は整ったと判断し、令和4年度より監督の有資格を必須とする。そのため、大会要項も次の通り変更する。

【現行】 団体戦監督についても公認審判員制度の有資格者であることが望ましい。

【変更後】団体戦監督は、公認指導者資格(コーチ1以上)、あるいは公認審判員制度2級以上の有資格者であること。

実施時期:令和4年度大会より

※なお、令和3年度大会より個人戦におけるベンチコーチを不可とする。

Ⅳ 大会等の参加に対する健康チェックシートの様式について

主管団体の作業の軽減と大会当日における受付の混雑緩和に繋げることを目的として、新型コロナウイルス感染拡大防止のための健康チェックシート様式を統一しホームページに掲載する。なお、今後の動向により修正が必要となった場合は競技委員会に変更作成しホームページ上で変更掲載する。

①様式1:個人用(個人戦の選手やその他入場者:団体戦入場者)

②様式2:団体チーム用(団体戦のチームメンバー)

実施時期:令和3年6月14日(月)より